経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

北海道　釧路白糠工業用水道企業団

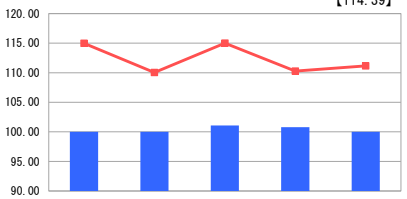
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m^3/日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m^3)
法適用	工業用水道事業	11,160	小規模	1	2,994
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**給水先事業所数**	**契約水量(m^3/日)**	**管理者の情報**	
-	79.7	16	3,410	民間企業出身　その他	

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

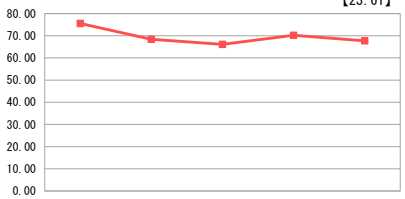
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【114.39】



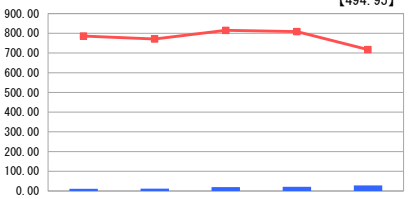
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	100.00	100.00	101.07	100.79	100.00
平均値	114.99	110.04	115.00	110.28	111.15

②累積欠損金比率(%)　【23.61】



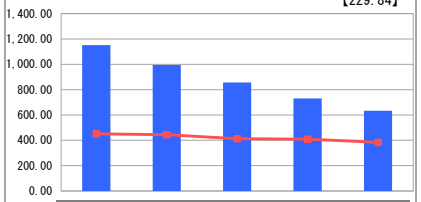
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	75.56	68.38	66.13	70.21	67.70

③流動比率(%)　【494.95】



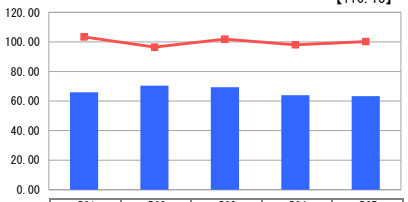
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	11.04	12.24	19.54	21.46	28.24
平均値	786.06	771.18	815.18	808.62	717.27

④企業債残高対給水収益比率(%)　【229.84】



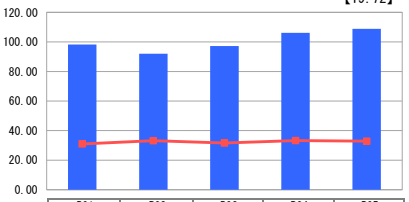
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	1,150.73	994.62	856.89	730.95	633.96
平均値	450.91	444.01	413.29	408.48	383.72

⑤料金回収率(%)　【110.13】



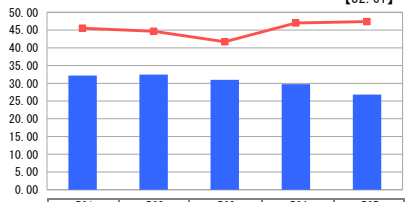
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	65.89	70.38	69.38	63.99	63.30
平均値	103.39	96.49	101.92	98.05	100.19

⑥給水原価(円)　【19.72】



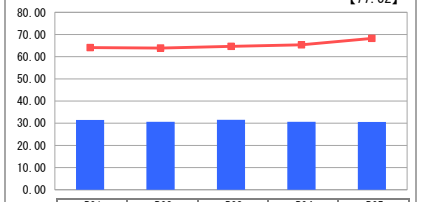
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	98.21	92.01	97.19	106.15	108.89
平均値	30.96	33.23	31.60	33.26	32.87

⑦施設利用率(%)　【52.61】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	32.18	32.46	30.98	29.76	26.83
平均値	45.51	44.67	41.71	47.02	47.40

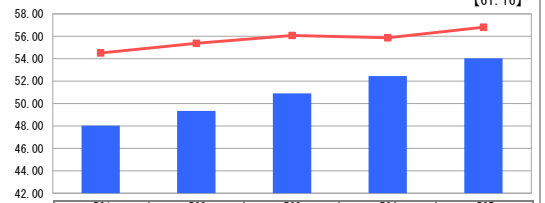
⑧契約率(%)　【77.52】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	31.45	30.65	31.54	30.65	30.56
平均値	64.14	63.89	64.70	65.38	68.25

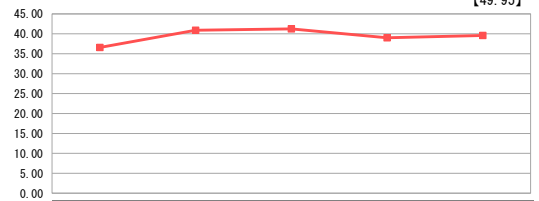
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【61.16】



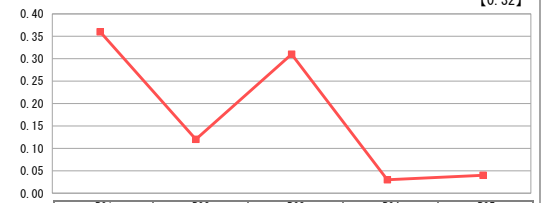
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	48.03	49.34	50.90	52.45	54.03
平均値	54.51	55.38	56.07	55.87	56.81

②管路経年化率(%)　【49.95】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	36.58	40.88	41.24	39.02	39.57

③管路更新率(%)　【0.32】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.36	0.12	0.31	0.03	0.04

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」維持管理費に対し給水収益が不足する額を経営健全化を図るため構成市町の負担金で補填し100%となっている。
「②累積欠損金比率」累積欠損金は発生していない。
「③流動比率」建設改良等に充当した企業債の償還により平均値と比較し低い値となっている。
「④企業債残高対給水収益比率」平均値より高い値となっている。今後の償還計画により値は減少傾向となっている。
「⑤料金回収率」類似団体平均値より低い値となっている。料金の適正化について検討する必要がある。
「⑥給水原価」企業誘致の推進を図るため良質な工業用水を供給しており他団体と比較し高い値となっている。
「⑦施設利用率」・「⑧契約率」契約水量は横ばいで推移し使用量も減少傾向となっている。施設運転の効率化により費用の経費削減に努める。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」類似団体と比較し低い値となっている。機械設備等の経年劣化状況を確認し、費用の平準化に努めながら計画的に施設整備を実施する。
「②管路経年化率」・「③管路更新率」法定耐用年数を超える管路がなく比率は0%となっている。
管路の状況を確認し、計画的に更新整備を進める。

全体総括

本事業は良質で低廉な工業用水を供給しているため給水原価が高い値となっており経営状況は運営費用に対して収入不足分を一般会計から繰入金により補填している。
令和5年度は水産加工企業等の超過使用水量等が減少したため、給水収益は前年度を下回る結果となっている。今後も企業債償還や施設改修費用が見込まれることから、計画的かつ効率的な施設修繕や更新工事を実施し、用水型企業の誘致など水需要の拡大に努め経営改善に取り組んでいく。